

- 【教育目標】
- 考えて行動する子
 - 進んで学習する子
 - 仲良く助け合う子

「あいさつ」の力

校長 山下 正志

私の一日のスタートは、子供たちとの朝の玄関での「おはようございます」の言葉で始まります。私にとっては、子供たちとふれあうことができる貴重な時間であり、可能な限り、朝は子供たちを迎えるように心がけています。そのような時、出会うのが、「おはようございます」の言葉です。何の変哲もないたった4個の文字からできた言葉ですが、声に出すことによって大きな力になります。

ある子は、にこやかな表情で私を見つめながら、「校長先生、おはようございます」と元気よく言ってくれます。そのようなあいさつをしてくれると、その子供の「おはようございます」の言葉が光となり、私の心に広がってくるのを感じます。また、ある子は決して大きな声ではないのですが、「おはようございます」の言葉に強い思いが込められていることを感じ、私の気持ちも清らかになります。



<生活委員会 あいさつ運動>

日本人が交わすこのような「おはよう」「こんにちは」「さようなら」などのあいさつの言葉は、その後の言葉が省略されたものと聞いたことがあります。本来は「おはよう、ごきげんいかがですか」とか、「さようなら、明日もまた会いたいですね」などの言葉があったものが、あいさつの言葉として短くなり、概して、前の言葉だけが交わされるようになったそうです。こうしたことから、私も「おはようございます。今日も元気だね」や「さようなら、気をつけて帰るんだよ」等と一言付け加えて、声をかけるようにしています。つまり、それだけでも力のあるあいさつの言葉に一言を加えることで、相手に届く言葉の光がさらに強くなっていくのです。

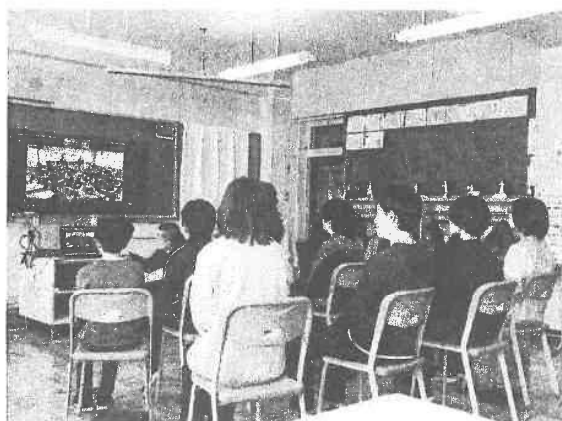
ご家庭でも、すでに心がけていただいているかと存じますが、改めてお子さんとより気持ちのよいあいさつの習慣化をしていただければと思います。まずは朝起きたら、「おはよう、よく眠れたかい？」などの言葉を明るく投げかけ、子供の心に光を与えて下さい。そうすることで、子供も、そして自分までも、一段とさわやかな気持ちになっていくと思います。一方で、くれぐれも「おはよう。早くしなさい。」というようにだけはならないようにお願いします。

年が明けたころは、厳しい寒さと暴風雪が続き、「今年も大雪かぁ」と覚悟を決めていたところ、立春を節目に、徐々に温かくなり、春の訪れが少しずつ近づいてきているのが体感できます。令和5年度も残すところあと一月となりました。子供たちには一年間のまとめと次年度への心の準備に向けて指導並びに支援して参ります。

月形小学校の教育活動



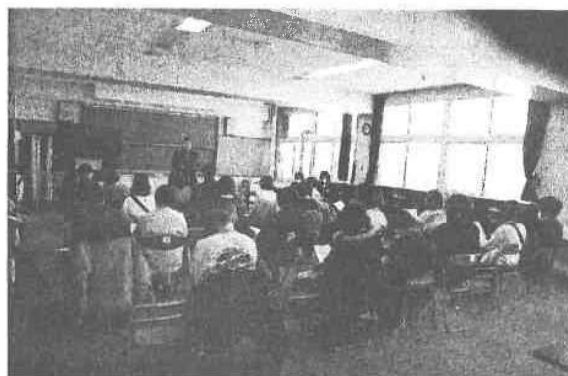
3学期にはスキー学習を行っています。写真は5年生のグリーンランドスキー場での学習の様子です。スピードをコントロールして滑ることを学習しました。



2月20日 本校6年生と新潟県月潟小学校の6年生による「つきがた交流」をオンラインで行いました。自己紹介や町の紹介を行いました。



2月6日、令和6年度月形小学校入学児童およびその保護者を本校に招いて、一日入学を行いました。入学予定児童は本校1年生と交流を行いました。保護者の方々には小学校生活について、担当職員から説明を行いました。



2月9日、本校において漢字検定（5、6年生対象）を実施しました。5、6年生全員が国語の学力向上を目的として実施しています。検定料は全額月形町が負担しております。

子供達は自分の目標（級）を達成するために学習を積み重ねて、この日を迎えていました。良い結果が出ることを願っています。



2月21日、児童会生活委員会主催の「友達づくり集会」が行われました。今回は全児童での「手つなぎ鬼」を行いました。鬼は6年生が行いました。

みんなで仲良くそして楽しく遊ぶことができました。子供たちにとって楽しい活動となりました。